

珍しい生き物がやってきた!! ハラハラドキドキの瞬間

7月10日の大休憩に遊びに来ていた1年生が幼稚園プールの溝で「カメがいる!!」と驚きの声を上げました。見に行くとビックリ!!見たことがないくらいの全長 30センチくらい大きなカメがなんと溝にいたのです。全く水はないのに??? (後で幼稚園のお兄さんが調べてくれると、それは「ミシシippアカミミガメ」だそうです) 慌てて小学校の教頭先生にお願いして、無事捕獲していただきました。

そして、7月12日。今度は朝登園してきた年少のりす組の子ども達が、遊戯室の前のコンクリートの壁にへばりついているセミを大発見!! 幼虫から成虫に生まれたばかりのセミが羽を乾かしているところでした。すぐそばに殻を脱いで。りす組の子ども達が、ぱんだ組やらいおん組の子ども達を呼びに行き、みんなでじっと観察していました。らいおん組の子が「これは、クマゼミ。だって羽が透明だから」と教えてくれました。

そして、じっとみんなで見ていると、じっとして動かなかったセミがなんと足を動かしたのです。子ども達はビックリ!!思わずりす組の子どもが「本物だったんだ!!」とつぶやきました。(その言葉に思わずはっとしました。子どもの世界を見たような気がしました。)

そして、セミはおしっこをして、みんなの前をひらりと飛び立っていきました。それを見て、さっきのらいおん組の子が「クマゼミじゃなくて、ヒグラシだったんだ。飛び方がクマゼミじゃない!!」虫博士の言葉にまたまた驚きました。幼稚園では、毎日のようにいろんな虫(今はバッタ、カタツムリ、アゲハチョウ、カブトムシ、クワガタムシ)と子ども達は出会い、見たりさわったりしながら 心を動かされ知的好奇心を高めています。この本物との出会い、実体験が心に刻まれ蓄えられていきます。是非子ども達の声に耳を傾け、心を垣間見てください。凄い発見があると思いますよ。

【ちょっといい話 ♡】

年長の子ども達が次の年長組の子ども達へ命をつないでいた「カブトムシ」の幼虫が今年も成虫になりました。少し小ぶりですが、元気なカブトムシに育ちました。命のバトンリレーは、3年続いています。そして、なんと成虫になったばかりのカブトムシですが、すでに土の中には白い卵がいっぱい!!新しい命が宿っています。来春には次のらいおん組(今のぱんだ組)の子ども達に命が引き渡されます!!らいおん組さん、お世話ありがとう。



【らいおん組の子が作った渡り棒の上を歩くカブトムシを観察する年少組の子】



遊びがつながる 人がつながる 学びがつながる♡



～サーキットの巻～

ずっと年長のらいおん組が「マリオワールド」の世界を楽しみ、遊戯室でソフト積み木や大型積み木・すべり台・巧技台等を利用して、自分達で話をし、イメージを去有しながら遊んでいました。日々ソフト積み木や平均台等位置や構成を組み換え、作り直しながら遊びを楽しんでいました。1年生の子らが一緒に土・水遊びをしたお礼にきてくれた時も、思わず「一緒に遊ぼう」「来てもいいよ」のお誘い。そして、次は年中のぱんだ組もお誘い。子ども達は、思いっきり楽しんでいました。



【1年生と一緒に遊ぶらいおん組の子ら】

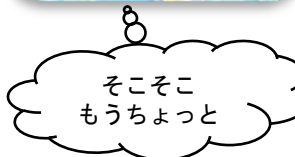


【りす組の子らと一緒に遊ぶぱんだ組の子ら】

そして、今度は「ぱんだ組もしたい」ということで、ぱんだ組の子ども達がソフト積み木やウェーブバランスを使ってスタートや仕掛けのあるゴールをつくり、「マリオぼうけん」の世界を楽しみました。満足した子ども達は「りす組さん呼びたい」と言う声を出しました。そして、りす組さんを招待し、一緒に笑顔で楽しめました。そして、今度はりす組さんが遊戯室で巧技台やトンネル等を使って「ぼうけん」(たんけん)を楽しみました。

子ども達は自分達のクラスだけでなく、他のクラスの遊びもよく見ています。そして、一緒に遊ぶ中で学び、子ども達同士で触れ合い、互いの理解をしています。また「今度は僕達私達も～したい」と意欲を高め、自分達の学びにつながっています。見る・まねる(模倣する)ことから、どんどん自分達のアレンジに繋がっていきます。子ども達の吸収力・成長はスポンジのように凄いです!!保護者の皆様、子ども達の成長の伸びがストップしないように、暑い折大変でしょうが健康管理に努め、登園へのご協力をお願いします。

七夕に願いを込めて・・・七夕会を楽しみました



七夕会に向けて、子ども達は、発達段階に応じてそれぞれ飾りを作り、「たなばたさま」の歌を歌ったり、願いごとを笹の葉に飾ったりしました。そして七夕会を楽しみにしていました。7月5日七夕会当日。ブラックシアターで幻想的な世界に包まれながら、七夕の由来を聞き、歌を歌い、縦割り★釣り(星っ子のおかし釣り)を楽しみました。年少組から年中組・年長組みんなでの縦割り活動は本年度初めてでしたが、「持っているから大丈夫だよ」「〇〇ちゃん、がんばれ」など優しい声掛けがあちらこちらで見られました。みんなで食べた★っ子は、最高の味だったようです。

子ども達はいろいろな願いを短冊に書きました。読まれたでしょうか。子どもの願いは、夢にあふれています。私達大人はその時その時の子ども達の思いを受け止めながら、手を差し伸べたり、温かく見守ったりする応援隊でありたいものです。